



南薩少年自然の家通信

令和5年1月発行 第39号

わたしたちの願い
篤き志 強い体 広い心

利用者180万人達成記念セレモニーの開催

所長 中原 明美

令和5年(2023年)、卯年となりました。十二支のうさぎは、安定感があり、縁起の良い動物とされていることから、「家内安全」「飛躍」「向上」「植物の成長」などの意味があり、新しいことに挑戦するには最適な年といわれています。特に今年「癸卯(みずのとう)」であり、癸には、「春の訪れを感じる」という云われから、更に縁起の良さを表す意味もあるそうです。

さて、平成元年に開所して34年目を迎える当所の利用者数は、累計180万人を達成しました。そこで、1月25日に集団宿泊学習で来所した南九州市立穎娃小学校の皆さんとともに、180万人達成セレモニーを開催しました。コロナウイルス感染症の影響を受け、令和元年10月の170万人達成セレモニーから約4年が経っての開催となりましたが、これまで長きにわたり、県内の小・中・高校生をはじめ、幼児から高齢者まで幅広い世代の皆様へ御利用いただいたおかげだと心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

さらに、より多くの皆様に喜んで御利用いただけますように「わくわく入所 満足退所」をモットーとして、質の高い豊かな体験活動プログラムの提供と研修活動の指導・支援に努めて参ります。今後とも、南薩少年自然の家の御利用と主催事業等の御参加をよろしくお願いいたします。

なんさつ

どきどき探検隊

「朝日の出る瞬間がきれいだった。」

「人の話を聞く。」「自分のことは自分です。」「友達と助け合う。」という3つのめあてをもち、11月5日(土)から6日(日)の2日間「なんさつどきどき探検隊」を実施しました。小学1・2年生の参加者26人は、1日目になんさつどきどきアドベンチャー一人用テント設営をし、一人でテントの中で寝ました。2日目は、朝日ウォッチングやテント撤収、自然素材を生かしたかべ飾り作りをしました。

参加者は、3つのめあてをしっかりと守り、満足して過ごすことができました。



なんさつの

星空観望会 冬



「あっ、流れた。」12月10日(土)の夜に吹上浜海浜公園との共催事業「なんさつの星空観望会 冬」を実施しました。

21グループ78人が参加し、まず、オープニングではジャズバンドグループ「こころの詩人」による星に関する曲のメドレーに心が癒やされました。その後、外に移動すると、満天の星が広がっていました。ふたご座流星群や冬の星座をたっぷり味わうことができました。

鹿南少

わくわくホリデー1~3

「クロツラヘラサギに大満足。」
「想像していたよりも豪華なリースにびっくり。」
「正月飾りの意味を知り勉強になった。」

11月27日(日)に開催した吹上浜海浜公園管理事務所との共催事業「鹿南少わくわくホリデー1『カヌーで巡る野鳥観察と万之瀬川クルーズ』」に10家族36人が参加しました。

カヌークルーズや吹上浜海浜公園内での野鳥観察を通して、絶滅危惧種のクロツラヘラサギだけでなく、魚をねらうミサゴ、V字型に並んで飛ぶカワウの群れなどたくさんの野鳥に出会うことができました。



12月17日(土)に開催した鹿南少わくわくホリデー2「クリスマスリースを作ろう」には、9グループ23人が参加しました。

自然の家周辺で採集できる木の実などでデザインを試行錯誤しながら作りました。家族でアドバイスしながら、楽しそうに作っている姿がとても印象的でした。

12月17日(土)に鹿南少わくわくホリデー3「お正月飾りを作ろう」を実施し、8家族27人が参加しました。

家族で協力しながらしめ縄を結び、それぞれの意味を考えながら紙垂や、水引、扇などの飾り付け、楽しく新年を迎える準備をしました。



2・3月の主催事業

	事業名	対象・募集定員
2月 5日(日)	まるごと自然の家 in 枕崎	県民どなたでも
2月25日(土)~3月12日(日)	施設開放ウィーク	県民どなたでも
3月 5日(日)	なんさつ春フェスタ	県民どなたでも

※ 詳細につきましては、南薩少年自然の家ホームページ等でご確認ください。



「ペガちゃん」(南薩少年自然の家マスコット)
〈問い合わせ先〉 県立南薩少年自然の家
〒899-3404 南さつ市金峰町高橋3252
(電話)0993-77-2500 (FAX)0993-77-1929
ホームページは はこちらから→
(ホームページ) <http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/nansatsu/>

